



# EM活用者地域勉強会報告！

今年の「EM活用者勉強会」は各地域でEM活用されて美味しい・安心野菜を栽培されていらっしゃる農園を視察研修させて頂きました。福井地区のみは愛知県の(公財)自然農法国際研究開発センター 草木農場視察を計画させて頂きました。

## 7月5日(火) 石川 白山市吉野地区会場



会長 中村 勇氏

中村 勇氏を会長とする下吉野老人会が主催で、初心者勉強会が開催されました。会員20名、福井県越前市からも2名の参加が有り、最初に2ヶ所の農園を視察させて頂くと驚き！家庭菜園とは思えないほど、立派に野菜作りをされていて、聞けば出荷もされていると言う。



増田さん農園



もぎたてキュウリを頂きましたが、丹念に愛情込めて作られたキュウリの味はとてもさわやかで、後引く美味しさでした。暑い中での視察の後、集会所に戻り、南理事長の勉強会が始まりました。

ガン患者でも進行の早い人遅い人がおり、要因として

- ①安全な農産物を選んで食べている人
  - ②良い水を飲んでいる人
  - ③人柄・人間性・努力する人は直りが早い
- との話、又、陽(みなみ)捷行氏の「18cmの奇跡」・人間は18cmの土で活かされている。

**土を健康にする事が人間を健康にする事に繋がっていく。**いかに土の力を引き出すか等の話をされました。



太田さん農園



## 7月15日(金) 富山 杉本農園

富山会場は、杉本農園にて開催しました。約20名の方が参加されました。杉本農園さんは主にキュウリ・人参・玉葱・ジャガイモを栽培されています。一部はカット野菜向けとして出荷をされています。広い農園なのでEM散布などを定期的に散布するのに労力がかかるので大変だと話をされていました。



**病虫害対策(木酢液散布)や雑草対策(マルチ)はシンプルな方法で対処されています。**

**土作りに力を入れておられ、定期的に木酢やEM1号・3号を散布しておられます。**専業農家で栽培面積も多く、畑作の場合、作業が沢山あり、手間がかかるので大変だと感じました。収穫されたお野菜は無化学肥料・無農薬の美味しい野菜なので安全・安心です。視察後、質疑応答と南理事長から話があり、帰りにおみやげに野菜を頂きました。天候にも恵まれて有意義な時間になりました。



# 7月10日（日）福井地区：知多草木農場視察

今年のEM活用者地域勉強会の福井地区は、愛知県知多半島にある自然農法センターの知多草木農場に行ってきました。農場は平成23年4月に全国の技術普及の拠点として新設。水稻栽培では品種比較や雑草対策、畑作栽培では、緑肥の活用、ぼかし・堆肥等による育土などを行っています。



自農センターの榊原さんより  
畑の説明を受けました。



きゅうりの味の比較



後ろの水田は、7月4日に  
田植えをしたそうです。



写真①

前日の雨も上がり、朝から晴天！総勢51名の先進地視察になりました。水田6枚、畑4枚、育苗施設1の圃場があり面は合計174a。

それぞれの圃場でテーマをきめ野菜・稲を栽培してました。印象に残ったのは、畑を3つの区画に分割し

**A: 元々の地力だけで栽培**

**B: 土壌分析をして不足分を有機物で補う栽培**

**C: 森のようなイメージで草を積んで積んで6年目の畑(写真①)で栽培**

C区画のかぼちゃの生育がよかったように思います。

不耕起・連作・水稻の除草作業の軽減など、若い職員の方々が努力されている姿がとても頼もしく思えました。



6種類の稲の混



自農センター  
鈴木さん



自農センター  
阿部さん

## 7月16日（土）新潟 関農園

新潟会場は**水稻食味コンクール2年連続日本一**の実績を持つ関 博之さんの 家庭菜園と水田とを視察させて頂いた。

家庭菜園では毎年大量に出る籾殻を数年かけて堆肥化したものや近くで出る生ごみを堆肥化したのもで、土づくりを行い、後はEMボカシで養分供給を行っておられた。

**特に今回不思議な現象に出会えることが出来た。**

それはジャガイモの植え付け畑で今回の視察に合わせたように草取りを行ったと思われるくらい草の無いジャガイモ畑と、草に覆われているジャガイモ畑が並んでいたことだった。お伺いすると視察に合わせて除草したのではなく偶然にこのような状態になったとのことでした。関さんのお話によると、ジャガイモを植え付ける予定の場所一面にEMボカシを散布し畦立てを行い、植え付けを行ったそうです。違いは草で覆われている所と、草の無い所の土寄せの時期の違いだけだそうです。

このことから**土寄せのタイミングでジャガイモ畑の草取りが必要無くなる可能性**が見えてきました。



関 博之さん



籾殻堆肥



右側部分が草が生えなかった所

家庭菜園は奥さんと二人で取り組み、ボカシ等の準備はご主人、野菜全般の管理は奥さんが担当しておられた。

水稻は現在息子さんが主となり、有機栽培実施農家で確実に世代交代が行われ後継者が頑張っておられる姿を見せて頂いた。ほ場視察後は近くの公民館で 参加者との意見交換会が開催され和やかな内に終了した。

